

群馬県立県民健康科学大学大学院

看護学研究科看護学専攻（博士前期課程）

2025年度 一般選抜・社会人特別選抜試験問題

小論文試験問題

群馬県立県民健康科学大学大学院

小論文試験問題 1 問題用紙

日本看護協会は、2021年3月に「看護職の倫理綱領」を公表しました。

「看護職の倫理綱領」は、看護職が本文のひとつひとつに対する意図まで十分な理解を深め、行動につなげることを目的に、前文と本文の2つで構成されています。

以下は、倫理綱領の前文と本文11の抜粋です。これらの内容を読み、各問に答えなさい。

前文

人々は、人間としての尊厳を保持し、健康で幸福であることを願っている。看護は、このような人間の普遍的なニーズに応え、人々の生涯にわたり健康な生活の実現に貢献することを使命としている。

看護は、あらゆる年代の個人、家族、集団、地域社会を対象としている。さらに、健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和を行い、生涯を通して最期まで、その人らしく人生を全うできるようにその人のもつ力に働きかけながら支援することを目的としている。

看護職は、免許によって看護を実践する権限を与えられた者である。看護の実践にあたっては、人々の生きる権利、尊厳を保持される権利、敬意のこもった看護を受ける権利、平等な看護を受ける権利などの人権を尊重することが求められる。同時に、専門職としての誇りと自覚をもって看護を実践する。

<中略>

本文

<中略>

11 看護職は、研究や実践を通して、専門的知識・技術の創造と開発に努め、看護学の発展に寄与する。

<後略>

【出典】公益社団法人日本看護協会 看護職の倫理綱領（2021），P.1,7.

https://www.nurse.or.jp/nursing/assets/statistics_publication/publication/rinri/code_of_ethics.pdf

https://www.nurse.or.jp/nursing/rinri/rinri_yoko/index.html

（参照 2024年6月19日）

問1 「看護職の倫理綱領」の本文11を読み、内容が示す意図を130字以内で述べなさい。

問2 本文11をふまえ、あなたの日々の看護実践における疑問や問題は何か。その疑問や問題を解決するための方策について、あなたの考えを600字以内で述べなさい。

注 意 事 項 （小論文試験）

- 1 小論文の試験時間は、9時20分～10時50分です。
- 2 試験問題用紙の表紙が願書提出時の選抜区分であることを確認してください。
- 3 問題用紙は1枚、解答用紙は2枚です。下書きは用紙の余白をお使いください。
- 4 すべての解答用紙の所定の欄に、必ず受験番号・氏名を記入してください。
- 5 解答は、すべて解答用紙に記入してください。ただし、※印欄には記入しないでください。
- 6 問題用紙・解答用紙に不鮮明な部分や汚れなどがある場合は、声を出さずに手を挙げて、監督員の指示に従ってください。
- 7 試験中に質問や用便などの用件がある場合も、声を出さずに手を挙げて、監督員の指示に従ってください。
- 8 試験開始後は途中退室を認めません。
- 9 問題用紙・解答用紙・下書き用紙を持ち帰ることはできません。
- 10 不正行為や、他の受験生に迷惑となる行為をした場合は、退場させることがあります。